

府中市 水害ハザードマップ

Flood Hazard Map of Fuchu City

洪水に備える3つのポイント

- 防災情報を積極的に収集しよう!
- 避難のタイミングは自分自身で決めること
- ハザードマップは無くさない

府中市水害ハザードマップは、国土交通省が公表している「多摩川水系多摩川、浅川、大栗川洪水浸水想定区域図」を基に、台風や大雨などによって多摩川が氾濫したことを想定して示した図です。
あらかじめ避難方法や避難場所を確認しておき、いざという時に役立てていただくために作成しました。

府中市ホームページ
大規模な災害発生時には、災害時用トップページに切り替わります。
URL <https://www.city.fuchu.tokyo.jp/>



発行 平成29年7月 府中市行政管理部防災危機管理課
〒183-0056 府中市寿町1丁目5番地 府中市中央防災センター内 電話 042-364-4111 (代表) 042-335-4098 (直通)

避難のタイミングを逃さない

多摩川が氾濫した場合に自宅のある場所がどの程度危険なのかを理解して、どのように避難すれば命を守ることができるかを確認しておきましょう。

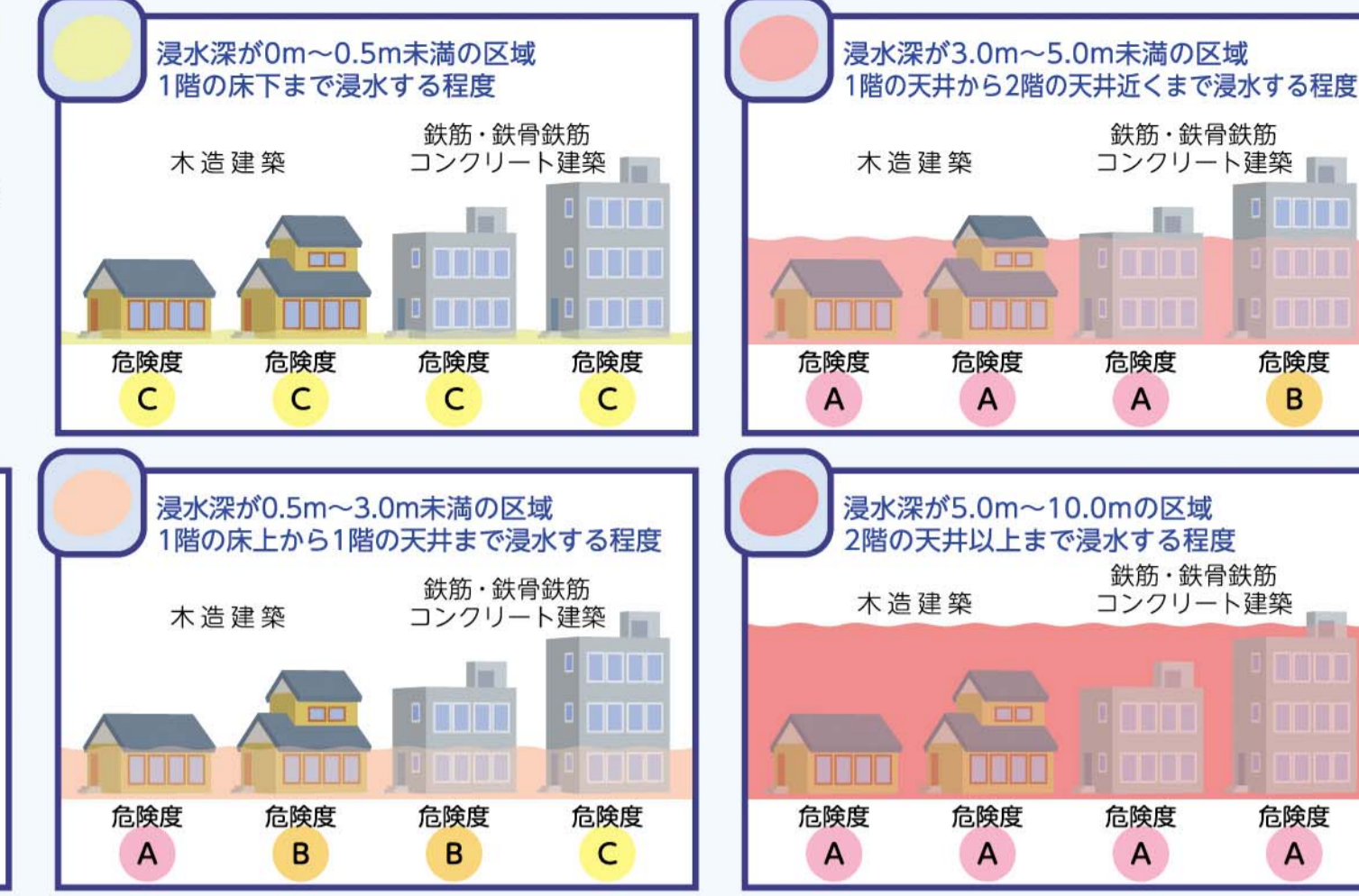
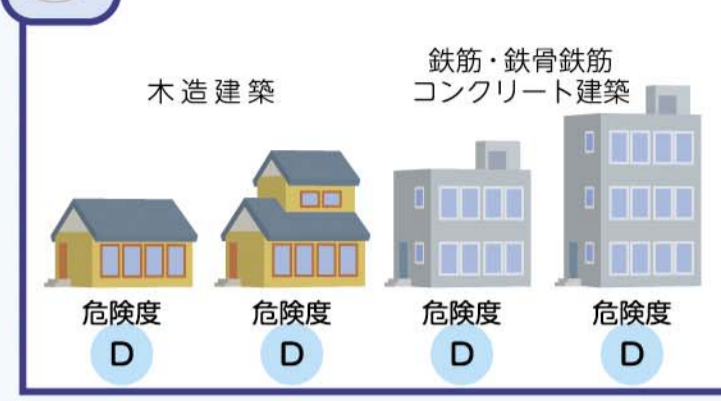
避難行動指針チェックチャート

水害からの避難には、「立ち退き避難」と「屋内安全確保」という2つの方法があります。
「避難行動指針チェックチャート」では、自宅の場所と建物の構造から浸水危険度を判定して、避難行動指針を提示します。

1 水害ハザードマップから、自宅や職場の浸水想定の色(浸水深)を確認する。



2 自宅や職場の浸水想定の色(浸水深)を確認する。

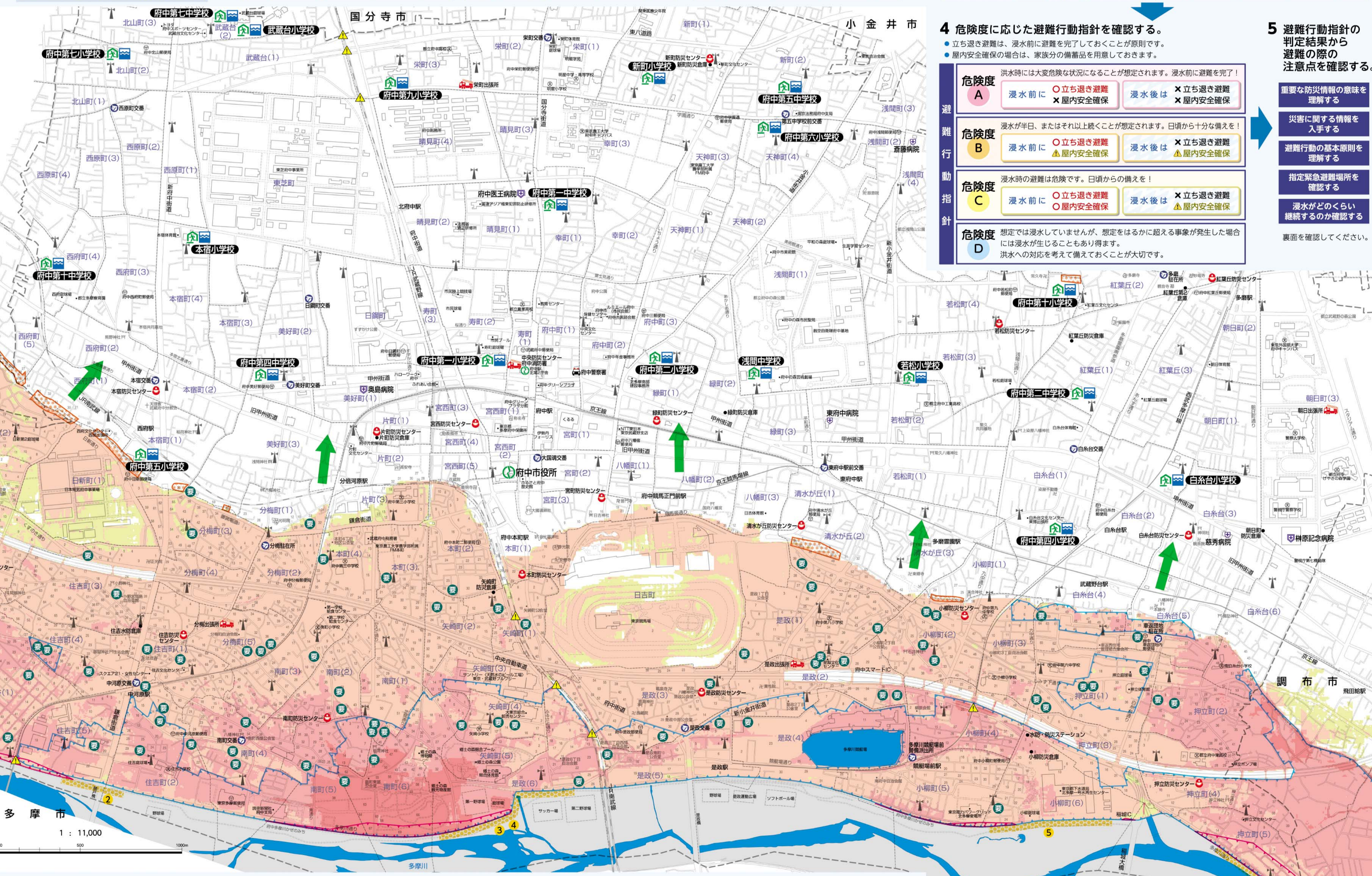


4 危険度に応じた避難行動指針を確認する。

危険度	避難行動指針
危険度 A	洪水時には大変危険な状況になることが想定されます。浸水前に避難を完了! 浸水前: ○立ち退き避難, ×立ち退き避難, ×屋内安全確保 浸水後: ×立ち退き避難, ×屋内安全確保
危険度 B	浸水が半日、またはそれ以上続くことが想定されます。日頃から十分な備えを! 浸水前: ○立ち退き避難, △屋内安全確保 浸水後: ×立ち退き避難, △屋内安全確保
危険度 C	浸水時の避難は危険です。日頃からの備えを! 浸水前: ○立ち退き避難, ○屋内安全確保 浸水後: ×立ち退き避難, △屋内安全確保
危険度 D	想定では浸水していませんが、想定をはるかに超える事象が発生した場合に浸水が生じることもあり得ます。洪水への対応を考えて備えておくことが大切です。

5 避難行動指針の判定結果から避難の際の注意点を確認する。

- 重要な防災情報の意味を理解する
- 災害に関する情報入手する
- 避難行動の基本原則を理解する
- 指定緊急避難場所を確認する
- 浸水がどのくらい継続するのを確認する
- 裏面を確認してください。



凡例

	指定緊急避難場所(洪水)		家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
	防災行政無線		家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)
	要配慮者利用施設		急傾斜地崩壊危険箇所-区域
	地下横断道路(アンダーパス)		重要水防箇所
	府中市役所		1 2 3 川の流れが強く当たる場所で河岸が侵食される危険性がある
	警察署		2 2 開戸橋の影響により堤防の高さが不足している
	交番・駐在所		3 3 以前は川であったところが現在では堤防となっている
	消防署・消防出張所		4 4 大丸用水堰(農業用水)が洪水時に流れる障害物となる
	防災センター(消防団詰所)		5 5 洪水により堤防の法面が崩れるまたは滑りが生じる可能性がある
	救急病院		
	病院		
	立ち退き避難の方向		

多摩川浸水想定区域図(想定最大規模)

この地図は、国土交通省が公表している「多摩川水系多摩川、浅川、大栗川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)」を基に、台風や大雨によって引き起こされる多摩川の氾濫により、浸水が想定される区域と浸水深を示した図です。

想定最大規模とは...
雨の降り方が類似する同じ地域内で観測された過去最大の大雨(多摩川の流域で48時間の総雨量58mm)が降った場合に、多摩川が氾濫したことを想定しています。

【地図をご覧いただく際の注意】

- 浸水の予想範囲や深さ、家屋倒壊等が想定される区域は、任意の想定によるシミュレーションの計算結果であり、必ずしも想定通りに浸水するものではありません。
- また、浸水が予測されていない範囲の安全性を示すものではありません。
- 想定範囲以外でも、状況により浸水や家屋倒壊等が生じる可能性があります。
- 想定範囲や程度は、雨の降り方や土壌の浸透、河川の整備等により変化することがあります。

※「多摩川浸水想定区域図」についての詳細のお問合せは、下記までお願いします。
国土交通省関東地方整備局荒川川事務所 電話: 045-503-4000

土砂災害について

がけ崩れは立ち退き避難が原則!
前兆に気づいたら、避難情報の発令を待たずに避難を開始!!

がけ崩れ(土砂災害)における避難情報の発令について
東京都気象庁は、大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、土砂災害発生危険度がさらに高まった場合に、土砂災害警戒情報を発表します。市は、現地の状況や土砂災害警戒情報などを考慮し、避難勧告などを発令します。

前兆現象(前ぶれ)
★がけに亀裂や影がみられる。
★小石の落下や水の噴き出し、異常音や山鳴り、地鳴りが聞こえる。
★湧き水が急に増える、濁る、枯渇するなど普段と異なる状態が認められる。

急傾斜地崩壊危険箇所-区域

傾斜度30度以上、高さ5m以上の斜面で、崩壊した場合に人家等に被害が生ずる「がけ崩れ」が発生するおそれのある箇所を急傾斜地崩壊危険区域といい、立木竹の伐採や土砂の採取等の行為が制限されます。

この地図の作成に当たっては、国土情報部長の承認を経て、関係機関の提供を受けたデータ(地形データ、土地利用データ、河川データ、防災データ等)を利用した。 (発行者) 府中防災センター (地名情報) 東京都建設局(第31115-22) 0303671781 稲中央システムックス
地図調製 東京都建設局(第31115-22) 0303671781 稲中央システムックス